

朗読 三人の会

2021年7月5日（月）14：00

チケット 1,000円

後援：NPO 日本朗読文化協会



「伊豆の踊子」川端 康成作

三上 実枝子

『 私は二十歳、高等学校の制帽をかぶり、紺飛白の着物に袴をはき、学生カバンを肩にかけている。踊子は十七くらいに見えた。私には分からない古風の不思議な形に大きく髪を結っていた。 』

「転生」 志賀 直哉作

阿部 俐奈

『 女狐は一声何か狐の声で叫んだと思うと不意にオシドリに飛びかかり、たちまちのうちにそれを食い尽くしてしまった。 』



真日まで 磯の岩床焼け赫けて 底なる潮 呻吟に似たり 青木繁作「海の幸」

「夜猿」林 芙美子作

山川 建夫

『 最も繁が心魂をそそいだのは、裸の漁夫が数人、巨きな魚を背にして夕陽をあびて戻ってくる構図だった。 』

プロフィール



三上 実枝子

学生の時から千葉市民劇場に所属し、民芸養成所を経て、小幡欣次主催の「炎座」に入団。後に各自立劇団に参加。
代表作：内村直也作「夜の来訪者」チェーホフ作「カモメ」他
現在は、目黒区陋屋グループ「アイ」で指導をしている。
NPO 日本朗読文化協会会員



阿部 俐奈

時の流れに任せて、ユニークな新聞社の記者、研究者、テレビのインタビュアー、大学の生涯教育部門の講師などを経験。2001年から朗読を始め、朗読の持つ魅力に魅かれ、現在はライフワークとして各種朗読会に参加出演している。
NPO 日本朗読文化協会理事、東京日本トルコ婦人クラブ副会長



山川 建夫

1943年 東京・千駄ヶ谷生まれ。
1968年 フジテレビアナウンサーとして入社。2年後朝のワイドショー「小川宏ショー」にサブ司会者として参加。1985年退社。自然生活の実践のため市原市に移住。コメを中心とした自給的な暮らしを始める。現在テレビ・ラジオのCMなど、フリーアナウンサーとして活動。環境運動にも取り組み、市民の里山の再生を目指し「市民ルネッサンス」を立ち上げる。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

会 場：田園調布せせらぎ館 多目的室 A

大田区田園調布 1丁目 53-12

東急東横線・目黒線・多摩川線・地下鉄三田線・地下鉄南北線

「多摩川」駅 改札を出てすぐ左側

お問合せ：阿部俐奈 090-9852-5736 rgotoh2000@yahoo.co.jp 三上実枝子 090-1262-1182